

横浜市高齢者保養研修施設指定管理者選定評価委員会 第2回委員会会議録	
日 時	令和7年7月22日（火）13時30分～16時15分
開催場所	市庁舎18階 なみき16会議室
出席者	【委員】 芦沢委員、坂田委員、佐々委員、塩田委員、日向委員 【事務局】 横浜市健康福祉局高齢健康福祉部 鴨野高齢健康福祉課長、片寄係長、大田原担当
欠席者	なし
傍聴人	なし
開催形態	一部非公開
議 題	1 審査の進め方の確認 2 提案書の事前確認 3 応募団体によるプレゼンテーション 4 最終審査 5 今後の選定スケジュール等
決定事項	プレゼンテーション審査を経て、指定候補者を決定した。
議 事	議事に先立ち、事務局から「選定委員会の定足数」、「会議の公開」、「応募状況」、「欠格事項の確認」について説明。 本委員会は定足数を満たしているため、成立していることを報告。 本委員会については、第1回委員会の場で一部非公開とすることを決定したため、一部非公開とすることを確認。 応募状況等について、3社で構成される1団体から応募があった。 また、応募団体が欠格事項に該当しないことは、確認済み。 1 審査の進め方 事務局から選定方法について資料1に沿って説明。 配点は、15点満点については15段階採点、10点満点については10段階採点、5点満点については5段階採点とする。 各委員の採点の平均点を得点（143点満点）とし、最低基準点は78点とする。 プレゼンテーション審査後の採点で、得点が78点以上であれば、応募団体を指定候補者として選定する。 手順としては、応募団体の財務状況について、坂田委員よりコメントをいただき、それを踏まえて委員会の合議により、適・不適を佐々委員長に代表して判断していただく。 その後、委員の皆様からそれぞれ審査のポイントについてご説明いただき、意見交換をしたうえで、最終的な採点を行っていただく。

2 提案書の審査

(事務局から事前採点結果を返却、集計内容の確認)

- (1) 委員から応募団体の財務分析結果についてコメント
(委員)

安全性について特段問題はないが、収益性が若干低い印象ではあるが、順調に利益は出ている。代表企業、構成企業ともに問題はない。
全体を通して、今後事業運営で支障があるような状況ではない。
財務状況は良好であると思われる。

- (2) 応募団体の財務状況の適不適の判断
(委員長)

問題ないとして応募団体の財務状況として「適」と判断することとしたい。(⇒異議なし)

- (3) 委員から応募団体の提案書についてコメント
(委員)

提案書の作成に慣れていないためか、確認が必要な点が多々ある。
職員の人員体制や、収支計画に不明瞭な点がある。
また、教室の開催について、高齢者向け教室の具体的な提案が記載されていない。
3社で共同企業体を構成する理由を確認したい。
広報手段について、新たな提案の記載が無い。
提案書類の中で、この事業者ならではの工夫が読み取れない。
一方で、施設運営に必要な要素は一通り記載されている。

3 プレゼンテーション

応募団体の持ち時間は15分間とし、その後、質疑応答を30分間行った。

4 最終審査

プレゼンテーション・質疑応答を踏まえ、意見交換を行い、最終採点を行った。

指定候補者：ふれーゆ健康サポーターズ
平均点：87.2点

全体的に発展的な提案は少なかったが、指定管理者としての基本事項（施設の管理運営方針の適正性と安定的かつ公共的な経営姿勢）や施設の維持管理策について、提案していた点が高く評価された。

(主に評価された事項)

施設の維持管理について、毎年度の作業計画や、自社のノウハウ・実

	績に基づいた長寿命化計画の策定など、強みを生かした提案が評価された。 5 今後の選定スケジュール 選定評価委員会での報告を受けて、市で指定候補者を決定し、その後、市議会の議決により指定管理者が決定する。
資 料 ・ 特記事項	1 資料 資料 1 選定方法について 資料 2 本日のタイムスケジュール 資料 3 財務分析結果 資料 4 審査表 2 特記事項 なし